

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

(様式第3号)

Table with columns: 1. Category (カテゴリー), 2. Compliance (非該当), 3. Check Item (チェック項目), 4. Commitment Level (取組レベル), 5. Specific Commitment (具体的な取組), and 6. Main SDGs (17 Goals and 169 Targets) Related Items (1-17). Rows include Environmental Management System, Information Disclosure, Renewable Energy, Natural Resource Utilization, Anti-Bribery, and Fair Competition.

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

(様式第3号)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																															
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤー管理プログラムを制定し、サプライヤーガイドラインの遵守要請、サプライヤーによる自己評価、リスク分析、現場確認、改善活動のサイクルにより行っている。いずれのサプライヤー評価においても、サプライヤーと協働で改善活動を行い、レベルアップを図っている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/guideline.html サプライヤーによる自己評価の結果、ハイリスクのサプライヤーに対して現場確認、改善支援を実施している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/approach.html#2_03					4.1 4.3 4.4 4.5 4.7		6.1 6.2 6.3 6.4 6.5 6.6		7.1 7.2 7.3		8.4 8.5 8.6 8.7 8.8		9.4		10.2 10.3 10.7		11.6		12.2 12.4 12.5 12.6		13.1 13.3		14.1 14.2 14.3		15.1 15.2 15.3 15.4 15.7		16.1 16.2 16.4 16.5 16.10		17.16 17.17			
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	世界中のどの国・地域でも同じ品質を提供できるよう、グループ統一の品質保証規程と製品安全性管理規程を定め、世界同一レベルでの製品品質を実現している。 特に商品の安全性や環境法規制の適合性については、グループ統一品質規格であるEQS (Epson Quality Standard) を設け、世界各国・地域の安全規格や法規制の要求レベル以上の自主規制を幅広く実施している。また製品事故の未然防止、再発防止に向けて、あらゆる分野において徹底した安全性の評価を行い、お客様への安全・安心の提供に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/safety.html 「製品に関する重要なお知らせ」をエプソンのホームページのトップに掲載し、製品安全に関する情報を提供している。 https://www.epson.jp/info/?fwlink=iptop_info																			12.4													
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	企業行動原則「お客様満足追求」を全社員が実践することでお客様に満足していただける商品/サービスの提供に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/policy.html 常にお客様に寄り添い、誠実、丁寧、的確に素早く対応し、お客様の困りごとの解消に最善を尽くすと共に、お客様の期待に応える商品開発を行います。 https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/customer-value/																				12.8										16.6 16.8		
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	生産工程や商品の省エネルギー、資源効率向上、有害物質排除など、環境負荷低減の取り組みにより創出した環境配慮型商品を提供している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/products.html https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/customers.html				3.9		6.3 6.4 6.6	7.3		9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13.2								15.1 15.2 15.4 15.5									17.7		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	価値創造ストーリーに基づき、社会課題を起点に、自社が貢献できるマテリアリティを特定し、独自のコア技術をベースにイノベーションを起こし、社会課題を解決する価値を創造し、提供することでSDGsの達成に貢献している。この価値創造を継続して行うことにより、持続可能で豊かな社会を実現する。 https://corporate.epson/ja/philosophy/value-creation/ 長期ビジョンにて、『「省・小・精の技術」とデジタル技術で人・モノ・情報がつながる、持続可能で豊かな社会を共創する』と定め、環境、DX、共創への取り組みに重点を置き、5つのイノベーション領域において、エプソンでしか成し得ない新しい価値を創り出している。 https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/ https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/epson25re-areas.html https://openinnovation.epson.com/	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

(様式第3号)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業所が立地する地域の皆様を招いて毎年意見交換会を実施している。地域の皆様に当社の環境活動やリスク管理体制について理解を深めていただくことで、友好的信頼関係の構築に努めている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/communication.html#h2_04				4.4						11.4			15.2				
		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした社会貢献活動を通して、社会との共生を進めている。企業に対してより高い社会性が求められることを社員一人ひとりが自覚し、良き企業市民として積極的に社会に貢献し、ともに発展できる関係を築いている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/citizenship/social.html https://corporate.epson/ja/sustainability/citizenship/fantas-aquarium/				4.4					11.4			15.2					
		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用 (地消地産、地産外商) している	チャレンジ	職域生協が社員食堂で提供する食材やパン、菓子などは地域産のものを調達している。また、2021年4月からは、長野県の全ての拠点で信州産のCO2フリー価値付き電力(信州Greenでんき)を使用している。 https://www.epson.jp/osirase/2021/210527_2.htm						7.2	(8)	(9)		(11)	(12)	13.2					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を職場に掲示し、各職場で朝会時に唱和し、指差し確認している。年2回の方針大会で経営目標を社長から社員に説明している。 https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/ https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/management-philosophy.html	()内のターゲットは長野県により選定されたもの (当社で紐づけ未実施のため参考として記載)																
		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	企業行動原則及び社員行動規範に法規制などのルールを守ることを定め、グループ内に周知徹底を図っている。 https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/#anchor05 毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、全世界でコンプライアンス意識の向上及びコンプライアンスリスクの低減を徹底する期間としている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/initiatives.html#h2_02 信頼関係を維持・強化するため、経営の透明性・公正性を高め、さらに迅速な意思決定により実効性を踏まえた適切なコンプライアンス・リスクマネジメントを推進している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_02 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_03															16.5	16.b	
		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	サステナビリティ担当役員を任命し、サステナビリティ活動を進める体制や会議体を設置している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/															(16)		
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーと対話し、外部有識者から見た当社の活動について振り返りを行い、企業価値向上に取り組んでいる。 https://corporate.epson/ja/sustainability/engagement/shareholder.html https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/communication.html										12.6			(16)	(17)			
		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	グループ経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「全社重要リスク」、事業オペレーションに重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「事業重要リスク」、子会社の経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを「関係会社重要リスク」として特定し、制御計画の立案・実行と進捗状況のモニタリングを定期的に行っている。 https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html#h2_03										11.b			(16)				
		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	4つのマテリアリティを実効性のあるものにするため、12のサステナビリティ重要テーマを設定し、これらのテーマを中期活動計画に反映し推進している。 https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/materiality.html	()内のターゲットは長野県により選定されたもの (当社で紐づけ未実施のため参考として記載)																

